



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月26日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4552 URL https://www.jcrpharm.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 葉口 明宏 TEL 0797(32)1995  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,951	△2.5	1,307	31.0	1,351	37.7	1,227	33.0
2020年3月期第2四半期	11,236	9.3	998	△48.7	981	△51.1	922	△33.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,282百万円 (71.5%) 2020年3月期第2四半期 747百万円 (△52.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	9.94	9.89
2020年3月期第2四半期	7.49	7.44

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	59,708	33,472	54.8
2020年3月期	47,775	32,579	66.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 32,738百万円 2020年3月期 31,806百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2021年3月期	—	18.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	4.50	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式分割を考慮しない場合の2021年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は18円00銭となり、1株当たり年間配当金は36円00銭となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,200	9.8	6,000	84.9	6,000	82.2	4,800	79.2	38.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	129,686,308株	2020年3月期	129,686,308株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,103,184株	2020年3月期	6,369,036株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	123,427,591株	2020年3月期2Q	123,255,700株

（注）当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式分割後の配当及び連結業績予想について）

当社は、2020年8月26日開催の取締役会において、株式分割について決議し、2020年10月1日付で、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割考慮前に換算した2021年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 2021年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 第2四半期末 18円00銭（注1） 期末 18円00銭（注2）
2. 2021年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 155円44銭

（注1）第2四半期末の配当は、株式分割実施前の株式数に対して支払われます。

（注2）株式分割考慮前に換算した配当額です。

（注3）2021年3月期の年間配当金（株式分割考慮前）は36円00銭となります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
3. その他	11
研究開発品目	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

売上高は109億51百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

主力製品である遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」などの主力製品の売上は、2020年4月に薬価改定がありましたが、販売数量が増加したことにより、前年同期を上回りました。一方で、契約金収入が前年同期を下回ったことにより、売上高合計では、前年同期に比べて減収となりました。

利益面におきましては、業務の効率化を図ったこと等により、研究開発費を含む販売費及び一般管理費が前年同期を下回ったことにより、営業利益は13億7百万円（前年同期比31.0%増）、経常利益は13億51百万円（前年同期比37.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億27百万円（前年同期比33.0%増）となり、いずれも増益となりました。

研究開発費は26.0%減少し、24億7百万円（前年同期比8億47百万円減）となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
売上高	11,236	10,951	△2.5
営業利益	998	1,307	31.0
経常利益	981	1,351	37.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	922	1,227	33.0

②主な売上

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト®	6,235	6,538	4.9
再生医療等製品 テムセル®HS注	1,527	784	△48.6
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注「JCR」	2,272	3,390	49.2
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	—	1,694	—
ファブリー病治療薬 アガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」	123	220	79.1
契約金収入	1,002	10	△99.0

(注) 1. 持続型腎性貧血治療薬「ダルベポエチンアルファBS注JCR」を2019年11月より発売した影響で、短期型腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」の売上が減少しましたが、腎性貧血治療薬合計の売上は前年同期を上回りました。

2. 契約金収入が減収となったことにつきましては、ライソゾーム病治療酵素製剤の導出に関する契約が、新型コロナウイルス感染症の蔓延により対面交渉が困難な状況になったことなどにより、9月末までに合意に至らなかったため、当第2四半期連結累計期間に見込んでいた契約金収入が第3四半期連結会計期間以降にずれ込むこととなったためです。

③研究開発の状況

[ライソゾーム病治療薬]

- ・現在重点的に取り組んでいるライソゾーム病治療薬の開発では、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を適用した新薬の開発を行っております。
- ・血液脳関門通過型ハンター症候群治療薬パピナフスプ アルファ（開発番号：JR-141）については、2020年9月に日本で製造販売承認申請を行いました。なお、JR-141は2018年3月に厚生労働省より、先駆け審査指定制度の対象品目に指定されています。また、ブラジル連邦共和国では2018年6月より臨床第2相試験を開始し、その他の地域では2018年10月に米国食品医薬局（FDA）、2019年2月に欧州医薬品庁（EMA）よりオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受けており、FDAとグローバル臨床第3相試験開始の協議を進める等、グローバル展開の準備を進めております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症I型治療酵素製剤（開発番号：JR-171）については、日本では本年7月に独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）に、ブラジルでは本年10月にブラジル国家衛生監督庁（ANVISA）に臨床第1/2相試験の治験計画届を提出し、受理されております。なお、当該試験は、当社にとって初となるグローバル臨床試験であり、ブラジル、米国に先行し、日本で治験を開始いたします。
- ・その他のJ-Brain Cargo®を適用したライソゾーム病治療薬（ボンペ病治療薬（開発番号：JR-162）、サンフィリップ症候群A型治療薬（開発番号：JR-441）、スライ症候群治療薬（開発番号：JR-443）、サンフィリップ症候群B型治療薬（開発番号：JR-446）についても、研究開発を順次行うとともにグローバル展開を推進してまいります。

[再生医療等製品]

- ・2019年7月から新生児低酸素性虚血性脳症（開発番号：JR-031HIE）への「テムセル®HS注」の新たな適応拡大として臨床第1/2相試験を開始しております。
- ・他家（同種）歯髄由来幹細胞（DPC）を用いた急性期脳梗塞を適応症とする再生医療等製品（開発番号：JTR-161/JR-161）については、2019年2月より臨床第1/2相試験を開始しております。

[ヒト成長ホルモン製剤]

- ・2018年7月から「グロウジェクト®」の効能追加としてSHOX異常症に対する臨床第3相試験を開始しております。
- ・2019年5月からは遺伝子組換え持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）の臨床第1相試験を開始しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は597億8百万円（前連結会計年度末比119億32百万円増）、負債合計は262億36百万円（前連結会計年度末比110億40百万円増）、純資産合計は334億72百万円（前連結会計年度末比8億92百万円増）となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金および有価証券が減少した一方で、現金及び預金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ91億61百万円増加して375億4百万円となりました。固定資産につきましては、米国 ArmaGen, Inc. を買収したことにより特許権を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べ27億71百万円増加して222億4百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ103億21百万円増加して207億55百万円となりました。固定負債は、社債および長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ7億19百万円増加して54億80百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払があった一方で親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ8億92百万円増加して334億72百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ11.8ポイント低下して54.8%となりました。

現時点では当社グループにおいて、契約金収入の計上時期が第3四半期連結会計期間以降にずれ込むことになった以外は、新型コロナウイルス感染症の影響は受けておりませんが、今後の世界情勢の見通しが立たない中、当社グループがグローバルで持続的な成長を行うために、機動的かつ安定的に資金調達手段を確保する必要があり、各金融機関との間で、バックアップラインとして運転資金を確保する事を目的として、当第2四半期連結累計期間に総額155億円のコミットメントライン契約を締結しております。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ86億37百万円増加して195億65百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況および主な要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、42億32百万円（前年同期比12億83百万円の収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上額13億81百万円、減価償却費の計上額8億72百万円、売上債権の減少額14億62百万円があったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、44億84百万円（前年同期比8億71百万円の支出増）となりました。これは主に特許権の取得による支出27億47百万円および有形固定資産の取得による支出14億37百万円があったことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、88億67百万円（前年同期比62億72百万円の収入増）となりました。これは主に、配当金の支払額5億25百万円があった一方で、短期借入金の純増額90億70百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、(1) 経営成績に関する説明に記載のとおり、ライソゾーム病治療酵素製剤の導出に関する契約金収入が第3四半期連結会計期間以降にずれ込むことにより、期初予想に比して減収減益となっております。

通期の業績予想に関しましては、2020年5月12日に公表いたしました通期の業績予想を据え置きますが、現在ライソゾーム病治療酵素製剤の導出などの契約交渉を行っており、今後の業績推移に応じて修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。なお、通期の業績予想は次のとおりであります。

## 2021年3月期の連結業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	27,200	9.8	6,000	84.9	6,000	82.2	4,800	79.2	円 銭 38.86

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,973	19,910
受取手形及び売掛金	7,977	6,515
有価証券	220	212
商品及び製品	880	1,239
仕掛品	2,929	3,068
原材料及び貯蔵品	5,046	6,110
その他	315	447
流動資産合計	28,342	37,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,115	5,474
土地	5,664	5,664
建設仮勘定	2,283	894
その他(純額)	1,811	2,366
有形固定資産合計	14,875	14,400
無形固定資産		
特許権	—	3,126
その他	263	239
無形固定資産合計	263	3,366
投資その他の資産		
投資有価証券	2,408	2,466
その他	1,909	1,976
貸倒引当金	△23	△4
投資その他の資産合計	4,294	4,437
固定資産合計	19,433	22,204
資産合計	47,775	59,708
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	679	1,103
短期借入金	4,880	13,600
未払法人税等	534	1,039
賞与引当金	713	856
役員賞与引当金	77	31
その他	3,549	4,124
流動負債合計	10,434	20,755
固定負債		
社債	—	500
長期借入金	3,800	4,000
債務保証損失引当金	108	95
退職給付に係る負債	730	748
その他	122	136
固定負債合計	4,761	5,480
負債合計	15,195	26,236

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,891	10,928
利益剰余金	15,039	15,737
自己株式	△3,865	△3,703
株主資本合計	31,127	32,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	583	625
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	134	115
退職給付に係る調整累計額	△39	△27
その他の包括利益累計額合計	679	713
新株予約権	584	544
非支配株主持分	189	190
純資産合計	32,579	33,472
負債純資産合計	47,775	59,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,236	10,951
売上原価	3,173	3,513
売上総利益	8,063	7,438
販売費及び一般管理費	7,064	6,130
営業利益	998	1,307
営業外収益		
受取利息	7	3
受取配当金	12	11
為替差益	—	54
その他	9	21
営業外収益合計	28	91
営業外費用		
支払利息	10	18
支払手数料	—	4
為替差損	30	—
その他	4	23
営業外費用合計	46	47
経常利益	981	1,351
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	118	12
貸倒引当金戻入額	—	19
特別利益合計	118	31
特別損失		
固定資産処分損	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	1,098	1,381
法人税、住民税及び事業税	473	809
法人税等調整額	△299	△659
法人税等合計	173	150
四半期純利益	924	1,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	922	1,227

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	924	1,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△201	28
為替換算調整勘定	△22	△21
退職給付に係る調整額	48	44
その他の包括利益合計	△176	51
四半期包括利益	747	1,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	746	1,281
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,098	1,381
減価償却費	658	872
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△118	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23	25
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	7	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	121	143
株式報酬費用	175	149
受取利息及び受取配当金	△19	△15
支払利息	10	18
為替差損益 (△は益)	23	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	2,098	1,462
未収入金の増減額 (△は増加)	25	△63
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△860	△1,562
仕入債務の増減額 (△は減少)	379	423
未払金の増減額 (△は減少)	195	△85
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△334	△90
前受金の増減額 (△は減少)	△37	1,931
その他	173	71
小計	3,619	4,616
利息及び配当金の受取額	21	19
利息の支払額	△10	△23
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△680	△380
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,949	4,232
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△300
有価証券の売却及び償還による収入	240	—
有形固定資産の取得による支出	△3,746	△1,437
特許権の取得による支出	—	△2,747
その他	△106	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,612	△4,484
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,000	9,070
長期借入れによる収入	2,200	300
長期借入金の返済による支出	—	△450
社債の発行による収入	—	500
リース債務の返済による支出	△88	△37
自己株式の純増減額 (△は増加)	10	8
配当金の支払額	△525	△525
その他	△1	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,595	8,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,876	8,637
現金及び現金同等物の期首残高	8,091	10,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,968	19,565

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(ArmaGen, Inc. 買収による特許権の取得)

当社は、2020年2月27日開催の取締役会において、ArmaGen, Inc. (以下「ArmaGen社」) を買収することを決議し、同4月10日付で買収が完了いたしました。当該買収は、ArmaGen社が有する血液脳関門(以下BBB) 通過技術の知的財産権を含む技術的資産を取得することで、当社の技術的優位性を確実にするために買収を行ったものであり、資産の取得として会計処理を行っております。

## 1. ArmaGen社株式取得の概要

## (1) 株式取得の概要

## ①株式取得の相手会社の名称、事業の内容、規模

被取得企業の名称 ArmaGen, Inc.

所在地 米国カリフォルニア州 サンディエゴ

事業の内容 BBB通過技術(基盤技術)を基に、各種ムコ多糖症及びその他ライソゾーム病を適応とする新薬の自社開発及び他社との共同開発

規模 資本金 41千USドル(2019年12月期末日現在)

総資産 1,244千USドル(同上)

## ②株式取得の目的

現在、当社は独自技術であるBBB通過技術(J-Brain Cargo®)を用いて、ライソゾーム病治療薬の開発に注力しております。一方、ArmaGen社は同社独自のBBB通過技術を用いた新薬の研究開発を行っており、ライソゾーム病を含む疾患に広く適応可能な知的財産権を、米国をはじめとするグローバルの主要地域で出願および取得しております。

当社は、グローバル市場におけるライソゾーム病治療薬の開発を行うにあたり、その戦略について長期に検討を重ねた結果、ArmaGen社が有するBBB通過技術の知的財産権を含む技術的資産を取得することで、当社の技術的優位性を確実にすることができると判断いたしました。

## ③株式取得の時期

2020年4月10日

## ④取得する株式の数、取得後の持分比率

取得する株式の数 100株(注)

取得後の持分比率 100%

(注) 当社の全額出資による特定目的会社を子会社として設立し、その子会社とArmaGen社を合併(キャッシュアウト・マージャー)させ、存続会社をArmaGen社とする方法により、当社は合併後のArmaGen社の株式100株を保有しております。

## (2) 被取得企業の取得価額

取得価額につきましては、外部専門家による株式価値の算定結果を踏まえ、双方協議の上、妥当な金額で決定しておりますが、当事者間の合意により、取得価額等については非開示とさせていただきます。

## (3) 支払資金の調達及び支払方法

自己資金によっております。

## 2. 特許権の取得(取得原価、償却方法及び償却期間)

特許権の取得原価	29,858千米ドル (3,287百万円)
償却方法	均等償却
加重平均償却期間	11.88年

3. その他

研究開発項目

遺伝子組換え医薬品

開発番号 (一般名)	開発段階	適応症等	備考
J R - 1 4 1 (血液脳関門通過型遺伝子組換え イズロン酸-2-スルファターゼ)	日本: 製造販売 承認申請  ブラジル: 臨床 第2相試験	ムコ多糖症Ⅱ型 (ハンター症候群)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用
J R - 1 7 1 (血液脳関門通過型遺伝子組換え α-L-イズロニターゼ)	臨床 第1/2 相試験	ムコ多糖症Ⅰ型 (ハーラー症候群等)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用 「J-MIG System®」採用
J R - 1 6 2 (J-Brain Cargo®適用遺伝子組換え酸性 α-グルコシダーゼ)	前臨床	ポンペ病	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用
J R - 4 4 1 (血液脳関門通過型遺伝子組換え ヘパランN-スルファターゼ)	前臨床	ムコ多糖症ⅢA型 (サンフィリップ症候群 A型)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用
J R - 4 4 3 (血液脳関門通過型遺伝子組換え β-グルクロニダーゼ)	前臨床	ムコ多糖症Ⅶ型 (スライ症候群)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用
J R - 4 4 6 (血液脳関門通過型遺伝子組換え α-N-アセチルグルコサミニダーゼ)	前臨床	ムコ多糖症ⅢB型 (サンフィリップ症候群 B型)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用
J R - 4 0 1 X (遺伝子組換えソマトロピン)	臨床 第3相試験	SHOX異常症における 低身長症	「グロウジェクト®」適応拡大
J R - 1 4 2 (遺伝子組換え持続型成長ホルモン)	臨床 第1相試験	小児成長ホルモン分泌不 全性低身長症	「J-MIG System®」採用
J R - 0 4 1 (遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン)	臨床 第1/2 相試験	不妊治療	あすか製薬(株)に導出

再生医療等製品

開発番号 (一般名)	開発段階	適応症等	備考
J R - 0 3 1 E B (ヒト間葉系幹細胞)	2019年9月 申請取り下げ (今後の開発方 針検討中)	表皮水疱症	テムセル®HS注適応拡大
J R - 0 3 1 H I E (ヒト間葉系幹細胞)	臨床 第1/2 相試験	新生児低酸素性虚血性脳 症	テムセル®HS注適応拡大
J T R - 1 6 1 / J R - 1 6 1 (ヒト歯髄由来幹細胞)	臨床 第1/2 相試験	急性期脳梗塞	帝人(株)と共同開発